

トリ目・ウオの目・おか目はら目^⑥

「多治家礼とはダレジャ」



福岡女学院大学客員教授

斎

藤

裕

三



スパ」のJ2降格。何ばしようとね。未成年の女の子ば寮に引き入れたりして！未成年の女の子じやなく、成年のよか選手ば引き入れんしやい。

「やだねつたらヤだね」

博多出身の歌手氷川きよしさんも、歌いようでしようが。

「モウ・イヤー」

出た！「初日の出」ならぬ溜め息混じりの二〇〇二年版「初駄じやれ」。

けど、今年は午年。文化勲章とはいわんばつてん、せめて桜花賞か臯月賞並みの、もっとウマか駄じやればシカと作りんしゃい。しようもなか駄作ばっかり。すみません、脳力不足で。でも、冷酷な世間の駄じやれ批判や軽蔑的笑いには、今年も「馬耳東風」で、イアン・ソープのように、スレイと逃げ切れます。

まあ、ともかくは、

「明けましておめでとうございます」

さて皆様。今年もまた、恥や外聞が売り物の「トリ目・ウオの目・おか目はら目」を、書き続ける所存にござります。

読者の皆様には、忍びがたきを忍び、耐えがたきを耐え、など一層のご愛顧とご贊同のほどお願い申しあげる次第でございます。勝手にしろ。あら、どうですか。では勝手にさせて頂きます。というわけで、二〇〇二年の新年号は

テロに炭そ菌に狂牛病、それに「アビ

「ハッピー・ニュー・イヤー！」

ハッピー？ 何がですか。おめでたいのはあただけですばい。去年から世の中ひっくり返つとるでしょうが。

博多出身の歌手氷川きよしさんも、歌いようでしようが。

「モウ・イヤー」

出た！「初日の出」ならぬ溜め息混じりの二〇〇二年版「初駄じやれ」。

けど、今年は午年。文化勲章とはいわんばつてん、せめて桜花賞か臯月賞並みの、もっとウマか駄じやればシカと作りんしゃい。しようもなか駄作ばっかり。すみません、脳力不足で。でも、冷酷な世間の駄じやれ批判や軽蔑的笑いには、今年も「馬耳東風」で、イアン・ソープのように、スレイと逃げ切れます。

まあ、ともかくは、

「明けましておめでとうございます」

さて皆様。今年もまた、恥や外聞が売り物の「トリ目・ウオの目・おか目はら目」を、書き続ける所存にござります。

読者の皆様には、忍びがたきを忍び、耐えがたきを耐え、など一層のご愛顧とご贊同のほどお願い申しあげる次第でございます。勝手にしろ。あら、どうですか。では勝手にさせて頂きます。というわけで、二〇〇二年の新年号は

駄じやれでいくことに決めました。前に、英文学者、演劇評論家として高名で、さらにシェイクスピア並みの駄じやれの達人、東大名譽教授の小田島雄志先生を紹介しました。

朱鷺かまど
てら岡本店三階
☎ (731)6030

今回は、「ダジャレを楽しんでくダジャレ」をモットーに、「全国民必携・前代未聞のダジャレ教科書！」『ダジャレ練習帳』角川春樹事務所を刊行した多治家礼氏と、「こころを開きこころを結ぶユーモアの世界へようこそ！」と銘打つて、『ユーモア革命』(文春新書)を書かれた、阿刀田高氏の駄じやれ論です。

一見してわかるように、多治家礼氏の本は実戦用のマニュアル風、阿刀田高氏のものは、背後にある理論解説風で、ユーモア全体に及んでいます。

多治家礼とはいったいダレジャ？ 自己紹介では、「二〇世紀生まれの『教授』で、子供の頃からのダジャレ好き。長じて東大や諸外国でダジャレの研究に励み、研究室を設けてからは、日本で21世紀のダジャレを思索する日々」とあります。

皆様、このファーストぱりのもつともらしい自己紹介、どこか胡散臭いと思いません？ 筆者みたいにドンカン人でも、「多治家礼」(ローマ字で「Tajiya Reiji」)は、「だぢやれ」そのものだと気がつきます。ベンネームというものは確かに厳然とあ

贈ります。博多の心。

博多人形
博多織

増屋

博多上川端商店街☎(281)0083番
天神地下街店☎(771)1070番

創業大正15年
郷土料理
Japanese Restaurant
福岡市博多区中洲5丁目3-16 ☎(291)6331
営業時間 午前11時半～午後10時

八

りますが、このように読者を小バカにしたような姑息なペンネームの使い方や、

尊大な自己紹介の表現法は、筆者の駄じやれ倫理コード（基準）には合いません。

筆者の基準では、自ら楽しむのはもちろんですが、同次元で聞き手にも一緒に楽しんでもらうことが大切です。つまり、駄じやれは、公明（正大）で自由民主的精神性に富み、あつけらかんの内容公開が原則です。若干保守も含まれますが。

多治家礼氏は、東大卒で大学教授かも知れません。だが、どこかいかがわしいですね。どうでもいいことでしょうが、人をおちよくるのはいいかげんにしてください。駄じやれの世界とは別物です。

お屠蘇気分を壊すような、生意気いつて申し訳ありません。愛する駄じやれのために、ついムキになってしましました。一方、阿刀田高氏は、早大文学部卒。

短編集『ナボレオン狂』で直木賞、『新トロイア物語』で吉川英治文学賞を受賞。氏の作品中には、品のいいユーモアがあちこちにちりばめられています。阿刀田氏によれば、ユーモアとは、「もう少し別な見方で、優しく、ゆつたりと生きることを考えてみましようよ」という提言であり、普通の生き方では壁にあたつたとき、「気を取り直してごら

んなさいよ」と言つてくれるものだ、と説明しています。

「もう愛がないのであなたとはアイマセん」

「あの講師公私混同だ」

（耳が痛いなあ・筆者）

「おいマネージャー、なんのマネージャー？」

（ア革命）

からも忘れてはいけません。

「転勤先は幸か不幸か福岡です」

（あそだ。次に阿刀田先生の『ユーモセレンディピティ』は、わかりやすくて、偶然から予想外の大発見が生まれることで、ユーモアは軽いのが身上ですが、知性を働かせながら、同時に別な視点から見ていると、偶然すばらしいものを見出す、ということです。

上質の駄じやれ？ にもやはりセレンディピティがある、と筆者は思います。

江戸前期、マンネリズム化した貞門に対し、軽妙洒脱、斬新奇抜な作風を興した西山宗因一派の談林派の俳諧にもこれに通じるものがあるよう思えます。

例えば、有名な井原西鶴の句

大晦日さだめなき世の定め哉

も、「さだめなき世」というけど、大晦日と

いう日が決まっているじやありませんか」と発想の転換を促しています。

（公園のイヌの糞にフンガイ）

（イチロー大活躍！ ボクだつて一浪だ）

（空中接触事件解決へ、米中地上で接觸）

（今こそガンバリアンダンスを）

（クローンヒツジはメー）

（皆様、ここで、日本中が待ちに待つたビッグニュース！）

（ここ多治家礼氏の『ダジャレ練習帳』から面白い駄じやれを紹介。）

（ダジャレー・ヌーボー）

（飲んだら悪酔い疑いなし・筆者）

（二次会終わったらもう二時かい）

（福岡か志免志免・筆者）

（寺田本誌主宰よく聞いて！）

（病み上手の死に下手）

（教養があるねえ、いつから？）

（今日よ）

（最後を飾るのは筆者のめいわくな迷作。）

（はくせんギャラリー 福岡市中央区平尾1-3-34
TEL (092) 731-8900
マイング店 福岡市博多区博多ステーションビル名店街
TEL (092) 451-8900番）



☆☆

九

博多一 博多人形の
はくせん

はくせんギャラリー 福岡市中央区平尾1-3-34
TEL (092) 731-8900
マイング店 福岡市博多区博多ステーションビル名店街
TEL (092) 451-8900番

どんな遠い所にても
完全な荷造りで
責任をもってお送りいたします

去年一二月一日午後二時四三分、皇太子妃雅子様が敬宮愛子内親王様をご出産。やつと正真正銘の「おめでとう」です。内親王様が、平和の象徴として、健やかに成長されることを心から祈ります。